

# 第3回「水土里のみちウォーキング」in抱返り溪谷

ウォーキングを通じて普段何気なく見ている自然の中で、健康増進を図ると共に、周辺に点在している、普段は立ち入ることのできない農業水利施設に親しみ、その役割や大切さを各土地改良区担当職員から説明をいただきながら理解してもらうことを目的に取り組む。

活動は今年で3回目であり、開催地を変更する検討もしたが、前回開催後参加者より「次回も是非同じコースで」との問い合わせが多数寄せられ、引き続き同じコースにより開催した。老若男女問わず地域住民に広く参加してもらうために共催である県・土地連・各土地改良区のホームページ・さきがけ新聞の「地域情報」を活用し、関係機関の協力を得て、今年度の参加者は113名になりました。

コースは県立自然公園である抱返り溪谷駐車場を集合出発し、疏水百選にも選ばれている田沢疏水の「抱返り頭首工」や仙北平野の「玉川頭首工」の施設を巡り、自然豊かな原生林の中、青い溪流と断崖絶壁が織りなす勇壮な溪谷美を堪能し、溪谷随一の名称回顧の滝を折り返す、約7キロ・9キロの2コースを設け、ゴール地点では「完歩証」と記念品として「あきたこまち」450gをプレゼント。このプレゼントは、毎回参加者から好評を得ている。



活動体制	
実施主体	大曲仙北支部職員会
後援・連携	秋田県・水土里ネット秋田・管内土地改良区
実施期間	6月16日
参加者	県内外問わず子供から大人まで113名
報道関連	
活動実施年数	3年目（H24年～）
連絡先	〒019-2192 大仙市刈和野字本町5 秋田県西仙北土地改良区 TEL. 0187-87-3655
その他	県特別賞（H26）

## 【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット大曲仙北支部職員会（佐藤 靖彦）

○活動の目標及び達成率	目標 参加者200名 達成率 56.5%			
○活動に対する評価	前日の雨が多少影響したのかキャンセルが相次いだ。			
判定基準	自己判定（達成度）	判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等	判定	評価等
1. 取組体制について			②運動の発展・拡大	C
①役職員・組合員の参加	C		③運動の計画性	A
②後継者育成の工夫	C		4. 運動の成果	
2. 活動の意匠性について			a. 組織活性化	B
①基本理念の設定	B		b. 地域農業	C
②地域の歴史等の伝承	A		c. 地域コミュニティー	B
③運動の先駆性	B		d. 地域資源管理	B
3. 運動の継続性・発展性			5. 今後の課題等について	
①運動の継続性	B		・地域資源はまだ豊富にあり、普段立ち入ることのできない、農業施設の体験など継続的に多数の方に参加していただくために、今後はさらに市、マスコミ等も活用しPRしたい。	

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他